



50年前と現代のギャップを改めて感じる



インタビューに答える

先週19日WTA校の5年生の授業の一環として、インタビューを受けました。二クラス合同で50人での学習になりました。先々週の5日にもLI校の方でお話をしたところでした。重なる部分がかなりあったのですが、子どもたちの質問は、私自身の子供時代の事から始まって、小学校時代、中学校時代、高校時代、大学時代、卒業後の職業の事、教師になってからの事、アメリカに来ることになって感じている事等々、自分の人生を全て振り返るかのようでした。話をしながら、改めて今の子どもたちの生活と自分自身が育った昭和時代の生活とでは大きな違いがある事に衝撃を受けました。忘れかけていた幼い頃の事が思い出され、私にとっても有意義な時間となりました。それにしてもこれほど大きなギャップが

あったとは、、、！

例えば、私の小学5年生の頃の生活は、家にはラジオこそありましたが、テレビも電話もありませんでしたし、冷蔵庫や便利なガスレンジさえありませんでした。かやぶき屋根の家で、土間にはかまどがあり、煮炊きは全て薪を使っていました。家の中はススだらけでした。トイレも水洗ではありません。天皇陛下のご成婚の頃の事です。その頃ハイカラな家には白黒テレビがありました。夕方食事が終わると近所のテレビのある家に「今晚は！テレビ見せてください！」と出かけて行ったものです。見ていたのはアメリカ製のドラマ「名犬ラッシー」でした。このことは今の子どもたちには想像もできない事らしく、話が終わった後も、質問に来る子がいたほどでした。

中学3年生になった頃、ようやく我が家にもテレビが入りました。もちろん白黒です。見ていたドラマは、やはりアメリカ製。西部劇ばかりでした。この頃の自分は、外国人といえばアメリカ人のことだとばかり思っていました。アメリカは自分にとってあこがれの国でした、と話すと、拍手してくれました。高校一年の秋、ケネディー大統領暗殺のニュースが流れました。翌年には東京オリンピックがあり、その頃からニュージーランド人と文通をして、、、。若かりし頃の事が思い出され、とても懐かしく感じました。5年生の皆さん、いい機会を与えてくれてありがとう！

PS26 (LI校の借用校) の卒業式 に行ってきました。(6/22)

アメリカでこうした式に参列するのは、もちろん初めての事でした。スピーチをする事になっていたのですが、思っていたのが日本の中学校でやる「立志式」のことでした。大人になりかけるミドルスクールの時代が大事ですよ、と話してきました。最前列の特等席でした。

日本の卒業式とは様子が大分違っていました。明るい雰囲気、子どもたちは沢山の賞状やメダルをもらい、誇らしげでした。さわやかさを感じました。

